

科目区分	専門教育科目	科目名	生化学 I		科目コード	20303	担当者	矢島エ子	
対象学生	栄養士コース1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修		
						免許・資格要件	栄養士免許必修		
科目の主題						成績評価の方法と割合			
栄養素の体の中での変化及び役割について学ぶ。						定期試験（100%）			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）	
1.	人体構成の化学組成とその働きについて理解する。						○		
2.	食物成分の生体への取り込みとゆくえ（消化と吸収）について理解する。						○		
3.	体内でのエネルギー産生（エネルギーの貯蔵と利用）について理解する。						○		
4.	糖質、脂質、たんぱく質の生体内での働き（代謝）について理解する。						○		
5.	脂質の生体内での働き（生理活性物質など）について理解する。						○		
授業方法									
教科書を中心に講義する。必要に応じてプリントを使用する。板書しながら講義形式で行う。									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
日常生活に於て、健康と食べ物に関心を持ち、身体に関する情報を新聞、テレビ、書物等から得る習慣を付けるようにする。教科書を予習しておくことも講義内容への理解に大切である。									
授業計画									
第1回	ヒトの体はどのような成分から構成されているか								
第2回	生体の構成成分と食物成分との比較								
第3回	生物の基本単位（細胞）とその役割								
第4回	食物成分の消化・吸収と消化器官の役割								
第5回	エネルギー産生と利用								
第6回	糖質の特徴と働き								
第7回	糖質からのエネルギー産生およびその代謝								
第8回	糖質は糖質以外からも生合成される（糖新生）								
第9回	血糖と生体機能との関わり								
第10回	食物繊維の種類と生理作用								
第11回	脂質とは何か。（脂質の種類と機能）								
第12回	コレステロールの生体内合成とその役割								
第13回	脂肪酸由来の生理活性物質（エイコサノイド）の種類と機能								
第14回	ケトン体の生成とゆくえ								
第15回	リポたんぱく質の代謝と機能								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
「基礎から学ぶ生化学」 奥恒行、山田和彦編集 南江堂					分からないところは貯めずにその都度質問をして理解するように勉強して下さい。				